

心臓（冠動脈）CTの役割（位置づけ）

- ・ 狭心症とは言えないが、非典型的な胸部症状や心電図変化がある方
- ・ 高血圧・高脂血症・糖尿病・喫煙・家族歴などの危険因子を有している方
- ・ カテーテル検査に対して不安の強い方
- ・ 以前に治療（カテーテル治療・バイパス術）を受けて何年も経っている方

①今まではカテーテル検査をするか、そのまま経過観察するか判断に迷う事があった。

②MDCTが登場し、安全で簡易的に心臓（冠動脈）検査が行えるようになった。

③早期発見や予後を目的に運用されている。



心臓CT検査



狭窄あり

カテーテル治療・バイパス治療



狭窄なし

治療不要